

第22期第36回 佐賀県有明海区漁業調整委員会 議事概要

1 日 時 令和7年3月3日(月) 13時00分から

2 場 所 佐賀県水産会館「中会議室」

3 出席者 佐賀県有明海区漁業調整委員

会 長	西久保 敏
委 員	古賀 善治
”	井口 繁臣
”	中野 正利
”	中島 龍
”	川下 始
”	竹下 泰彦
”	古賀 秀昭
”	井上 亜紀

4 臨席者 佐賀県有明海漁業協同組合

指導部部長 有馬 隆文

指導部次長 下田 貴利

佐賀県水産課

漁業調整担当係長 伊藤 毅史

佐賀県海区漁業調整委員会事務局

事務局長 荒巻 裕

主 事 本間 智希

5 議題及び議決事項

- (1) 佐賀県資源管理方針の一部変更について（諮問）
 - ⇒ 原案どおり承認された。
- (2) タイラギの採捕禁止に係る委員会指示（案）について（協議）
 - ⇒ 原案どおり承認された。
- (3) クラゲの採捕制限に係る委員会指示（案）について（協議）
 - ⇒ 原案どおり承認された。
- (4) 委員会指示の適用除外について（協議）
 - 1 日本工営株式会社
 - ⇒ 原案どおり承認された。
 - 2 有明水産振興センター
 - ⇒ 原案どおり承認された。
- (5) 福岡県有明海区における刺し網等漁業許可方針について（協議）
 - ⇒ 原案どおり承認された。
- (6) 海区漁業調整委員会事務局設置規程の改正について（協議）
 - ⇒ 原案どおり承認された。
- (7) その他
 - ⇒ 事務局から福岡県における令和7年度水産基盤整備事業概要と本日の福佐連調委について説明が行われた。

6 各議題の説明者及び質疑応答の概要

(1) 説明者

議題1	伊藤係長
議題2	本間主事
議題3	本間主事
議題4-1	本間主事
議題4-2	本間主事
議題5	伊藤係長
議題6	荒巻事務局長

(2) 質疑応答

【議題（1）について】

質疑無し

【議題（２）について】

質疑無し

【議題（３）について】

（井上委員）委員会指示を３年とされており、他の１年間の委員会指示より長い理由を教えてください。１年間の委員会指示は１年の間に状況が変わりうると想定されていると思うのですが、ビゼンクラゲも変わりうるのかなと思ったのですがいかかでしょうか。

⇒（本間主事）ビゼンクラゲの状況も変わりうるものだと思いますが、固定式刺網は許可隻数が多く、それに伴って違反者数も多くなることから、より取締期間が長い３年間にしています。

【議題（４－１）について】

（井上委員）防衛省からの委託ということは、飛行場関係の環境調査なのでしょうか。

⇒（西久保会長）オスプレイ配備に伴って、漁業者から排水に関する要望をしているので、その工事に関係するものではないかと思います。

【議題（４－２）について】

質疑無し

【議題（５）について】

（竹下委員）承継が６親等以内というのは広すぎるのかなと思います。

⇒（伊藤係長）漸減方針というのは変わりませんが、アサリの資源保護の観点から、重要性は一定程度増してきているようです。

（竹下委員）佐賀では、空つりなわの需要は無いのですか。

⇒（西久保会長）佐賀では禁止です。

（竹下委員）禁止されている理由は何ですか。

⇒（伊藤係長）昭和５５年当時、他漁業種類とのトラブルといった点から議論がなされ、この漁業が禁止されているという背景があるようです。また、隣の長崎県においても禁止されております。

⇒（荒巻事務局長）日本国内でも許可されているところはほとんどないと聞きます。その理由が、針が密なので、そこを通った魚は引っかからなくても、体に傷が付いて死んでしまったりして、資源に及ぼす影響が強いと聞いております。

【議題（6）について】

質疑無し